

I 調査の概要

1. 調査の目的

県民の結婚や子どもを持つこと、子育てに関する意識や現状を把握し、奈良県において子どもを生き育てやすい環境づくりを進める取組を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査の実施概要

(1) 調査対象

- ・夫婦調査：平成25年9月1日現在で結婚している50歳未満の女性
- ・独身者調査：平成25年9月1日現在で18歳以上50歳未満の独身の男女

(2) 調査項目

夫婦調査、独身者調査のいずれも、平成20年度に本県が実施した「少子化実態調査」の項目をベースに、一部の項目を削除し、新たな項目を追加。

①夫婦調査

調査項目	質問項目
①回答者の属性	・夫婦の出生年月・結婚生活を始めた年月・初再婚の別 ・家族構成
②奈良県への転入時期等	・転入時期・転入理由
③就労状況	・現在までの各時期の夫婦の就労形態・職種・勤務先の従業員数・通勤時間（片道） ・妊娠・出産後の妻の就労形態・職種・勤務先の従業員数・通勤時間（片道） ・現在の夫婦の就労状況 1週間の労働時間（平均）・年収・勤続年数・仕事継続の見通し・出勤時刻（平均）・帰宅時刻（平均）・通勤時間（片道） ・就労希望の有無 ・希望する就労形態・職種・1週間の労働時間・勤務地・通勤時間（片道） ・就労しようと思う条件 ・就労を希望しない理由
④出会い・結婚	・知り合ったきっかけ ・結婚を決めたきっかけ
⑤妊娠・出産	・生んだ子の数 ・出産の時期・妊娠中の出産予定時期 ・不妊について不安や悩みの有無 ・不妊治療の経験の有無 ・妊娠・出産に関する悩みの相談先

調査項目	質問項目
⑥子育ての手助け	<ul style="list-style-type: none"> ・親に期待できる子育ての手助け ・利用したい制度や施設 ・親による過去の子育ての手助け ・過去に利用した制度や施設
⑦子ども数等	<ul style="list-style-type: none"> ・理想の子ども数・1人以上の理由 ・出産予定の子ども数・出産を希望する時期 ・「予定子ども数」が「理想子ども数」より少ない理由
⑧結婚・子育て等に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚・家庭・子育てに関する意識
⑨子育ての状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出産の不安感・負担感 ・子育ての不安感・負担感 ・パートナー（夫）との関係 ・小さな子どもとふれ合ったり世話をした経験の有無
⑩子育てに関する相談等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて相談できる人の有無及び人数 ・相談できる人 ・子育てが楽しいと感じる度合い ・子育ての楽しさの内容 ・子どもが就学前の頃の不安や悩みの内容
⑪今後の子育て支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援策に関する重要度・満足度 ・望ましい経済的支援措置 ・保育所サービスで望むこと ・あればいいと思う住民同士の助け合い
⑫自由記述意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本調査や結婚・出産・子育て・少子化などに関する自由意見

②独身者調査

調査項目	質問項目
①回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・出生年月・性別・親との同（別）居 ・結婚歴・子どもの有無 ・妊娠・出産の時期 ・現在までの就労形態・職種・勤務先の従業員数 ・現在の就労状況 1 週間の労働時間（平均） 1 週間の労働時間（平均）・年収・勤続年数・仕事継続の見通し
②結婚観	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚の利点の有無・具体的な利点 ・独身生活の利点の有無・具体的な利点
③希望するライフコース	<ul style="list-style-type: none"> ・理想とする人生・実際になりそうな人生・パートナーとなる異性に望む人生

調査項目	質問項目
④結婚意欲等	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚に対する考え ・結婚するタイミング・希望する結婚年齢 ・希望する出会いのきっかけ ・結婚の障害の有無・内容 ・現在独身でいる理由
⑤結婚後の居住地等	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚後の住居（希望）予定地・理由
⑥希望する子ども数	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する子どもの数・最初の子どもを持ちたい年齢 ・高齢出産についての考え
⑦子育てに対する考え	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが楽しいと感じる度合い ・子育ての楽しさの内容 ・子育てのつらさの内容 ・子育ての不安感・負担感
⑧結婚・子育て等に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚・家庭・子育てに関する意識
⑨重要と考える子育て支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援策に関する重要度
⑩自由記述意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本調査や結婚・出産・子育て・少子化などに関する自由意見

(3) 調査方法

訪問留置調査

(4) 抽出方法

県内市町村から188地点を系統抽出し、当該地点内からエリアサンプリングの手法により上記の調査対象に該当する方を選定。

(5) 調査期間

平成25年9月1日～平成25年11月25日

(6) 回収結果

	配布数	回収数	無効票	有効回答数	有効回答率
夫婦調査	2,115	1,964	80	1,884	89.1%
独身者調査	1,822	1,653	62	1,591	87.3%

(7) 標本の代表性

夫婦調査並びに独身者調査の回答者がどの程度母集団を反映しているかを検証するため、平成22年国勢調査の奈良県結果（以下、「国勢調査」という。）及び平成22年に国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（以下、「全国調査」という。）の調査結果との比較を行った。

①夫婦調査

夫婦調査の対象となった世帯の妻の年齢の分布をみると、45～49歳の割合が全国調査及び国勢調査の割合に比べやや低くなっているが、その他の年代については全国調査並びに国勢調査の分布状況とほぼ一致しており、母集団の年齢構成に沿った回答が得られた。

妻の年齢	平成25年度県調査		平成22年全国調査		平成22年国勢調査	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
総数	1,764	100.0	7,847	100.0	146,326	100.0
19歳以下	4	0.2	2	0.0	127	0.1
20～24歳	25	1.4	147	1.9	2,576	1.8
25～29歳	133	7.5	605	7.7	11,954	8.2
30～34歳	316	17.9	1,310	16.7	24,342	16.6
35～39歳	474	26.9	2,044	26.0	35,909	24.5
40～44歳	461	26.1	1,892	24.1	35,823	24.5
45～49歳	351	19.9	1,847	23.5	35,595	24.3

*年齢不詳除く

②独身者調査

独身者調査については、国勢調査の結果に比べ、男性の35～39歳及び45～49歳で構成比の差がやや大きくなっている。女性は18～19歳及び45～49歳で差が大きくなっている。全国調査の構成比と比較すると、男女とも全国調査に比べ、18～24歳の年代層の割合は低く、30歳以上の各年代の割合が高くなっている。今回調査と全国調査について、全年齢を対象とした集計結果をみる際には、回答された年代層のウェイトに違いがあることを考慮する必要がある。

	独身男性					
	平成25年度県調査		平成22年全国調査		平成22年度国勢調査	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
総数	698	100.0	4,851	100.0	130,420	100.0
18～19歳	82	11.7	845	17.4	14,458	11.1
20～24歳	173	24.8	1,840	37.9	33,100	25.4
25～29歳	134	19.2	1,036	21.4	25,562	19.6
30～34歳	103	14.8	494	10.2	18,889	14.5
35～39歳	75	10.7	318	6.6	17,144	13.1
40～44歳	66	9.5	228	4.7	12,202	9.4
45～49歳	39	5.6	90	1.9	9,065	7.0

	独身女性					
	平成25年度県調査		平成22年全国調査		平成22年度国勢調査	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
総数	883	100.0	3,990	100.0	128,698	100.0
18～19歳	79	8.9	878	22.0	14,548	11.3
20～24歳	243	27.5	1,783	44.7	34,635	26.9
25～29歳	181	20.5	739	18.5	25,091	19.5
30～34歳	113	12.8	247	6.2	17,330	13.5
35～39歳	97	11.0	138	3.5	15,560	12.1
40～44歳	87	9.9	126	3.2	12,156	9.4
45～49歳	52	5.9	79	2.0	9,378	7.3

(8) 報告書の見方等

- ① 図表中の n (Number of case) は、設問に対する回答者数である。
- ② 回答比率 (%) は回答者数 (n) を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は100.0%を超える。図中に「MA% (複数回答)」「2LA% (2つまで回答)」「3LA% (3つまで回答)」の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
- ③ 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- ④ 本文中の「今回調査」及び図表中の表記における「H25県調査」は、本調査の結果を表している。また、本調査は、質問項目により次の調査結果と比較を行っている。

調査名称	本文・図表の表記	調査の実施概要
奈良県少子化実態調査	前回調査、H20県調査	<ul style="list-style-type: none"> ○平成20年度実施 (奈良県) ○調査対象 (数) <ul style="list-style-type: none"> ①夫婦調査：奈良県内に居住する妻の年齢50歳未満の夫婦 (回答者は妻) 1,549人 ②独身者調査：奈良県内に居住する18歳以上50歳未満の独身男女 1,549人 ○調査方法 訪問留置調査 ○回収結果 (回収率) <ul style="list-style-type: none"> ①夫婦調査 : 982人 (63.4%) ②独身者調査 : 985人 (63.6%)
第14回出生動向基本調査	全国調査、H22全国調査	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度実施 (国立社会保障・人口問題研究所) ○調査対象 (数) <ul style="list-style-type: none"> ①夫婦調査：年齢50歳未満の有配偶女性9,050人 ②独身者調査：18歳以上50歳未満の独身男女14,248人 ○調査方法 配票自計、密封回収方式 ○回収結果 (回収率) <ul style="list-style-type: none"> ①夫婦調査 : 7,847人 (86.7%) ②独身者調査 : 10,581人 (74.3%)

また、一部の質問項目については、平成8年度に本県が実施した「これからの子育てや保育に関する県民意識調査」の結果と比較を行っており、本文・図表には「H8県調査」と表記している。なお、調査の年度等の記載の無い図表は今回の調査結果である。

- ⑤ 全国調査や前回調査結果との比較をする図表については、対象を同一にして比較する必要があるため、今回調査の対象を絞って集計し、表している。
- ⑥ 独身者調査では、結婚経験のない者を「未婚者」として表記している。
- ⑦ 今回の調査結果をまとめるにあたり、下記有識者の協力を得た。

石田裕子 (奈良佐保短期大学地域こども学科准教授)

菊野春雄 (大阪樟蔭女子大学児童学部教授)

宮坂靖子 (奈良大学社会学部教授)

(五十音順)

3. 調査結果のポイント

1 出会い・結婚について

「いずれ結婚するつもり」と考える独身者が減少し、結婚を希望する年齢も上昇。独身者の結婚意欲が低下。

- ・独身男性の「いずれ結婚するつもり」は67.1%
H20年県調査83.7%より16.6ポイント減少
- ・独身女性の「いずれ結婚するつもり」は72.9%
H20年県調査83.2%より10.3ポイント減少
- ・20歳以上40歳未満の独身は、男女ともに希望結婚年齢が上昇
25歳～29歳男性の希望結婚年齢31.9歳（H20年県調査30.4歳より1.5歳上昇）
25歳～29歳女性の希望結婚年齢30.6歳（H20年県調査29.3歳より1.3歳上昇）
- ・非正規雇用の独身者の結婚意欲は、正規雇用の独身者よりも低く、この傾向は男性の方が強い
「いずれ結婚するつもり」の独身男性のうち、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」 … 正規職員50.4% 非正規職員57.8%

2 子ども数等について

夫婦の「子ども数」及び「予定している子ども数(現在の子ども数を含む)」は増加。いずれも全国調査結果を上回っている。

- ・夫婦の子ども数（結婚後15～19年の初婚どうしの夫婦） … 2.17人
（H20年県調査2.08人より0.09人増加。H22年全国調査では1.96人）
- ・夫婦が予定している子ども数（初婚どうしの夫婦） … 2.22人
（H20年県調査2.17人より0.05人増加。H22年全国調査では2.07人）

3 子育ての状況について

① 妻の子育ての不安・負担感が減少。

- ・身体的・体力的な不安・負担感を「強く感じる」 H20年 18.9%→H25年 14.8%
 - ・心理的・精神的な不安・負担感を「強く感じる」 H20年 19.8%→H25年 13.3%
 - ・金銭的・経済的な不安・負担感を「強く感じる」 H20年 36.2%→H25年 24.8%
（いずれも6歳未満の子どもがいる夫婦の妻）

② パートナー(夫)と一緒に子育てをしている妻は、そうではない妻に比べて、子育ての心理的・精神的な不安・負担感が低い。

- ・心理的・精神的な不安・負担感を「強く感じる」割合
 - 「パートナー(夫)と一緒に子育てをしていると感じている」場合 12.4%
 - 「パートナー(夫)と一緒に子育てをしていると感じていない」場合 19.3%
- ・心理的・精神的な不安・負担感を「強く感じる」割合
 - 「子育てについてパートナー(夫)とよく話し合っている」場合 11.1%

「子育てについてパートナー（夫）とよく話し合っていない」場合 22.4%
(いずれも6歳未満の子どもがいる夫婦の妻)

③ 「子育ては楽しい」と感じる妻が増加。一方、子どもがいない独身者で「子育ては楽しい」と思っている人は少ない。

- ・「子育てを楽しんでいると感じることの方が多い」（6歳未満の子どもがいる夫婦の妻）
H20年59.1% → H25年64.4%
- ・「子育てを楽しんでいると思う」（子どもがいない独身者）（今回新規項目）
男性14.4% 女性 18.9%

4 妻の就労状況について

① 妻の約6割が第1子出産を機に退職。仕事を辞めた理由は、「家事・子育てに専念したかったから」が1位。

- ・第1子妊娠時に就労している妻59.8% → 第1子1歳時に就労している妻23.7%
- ・50.5%が仕事を辞めた理由を「家事・子育てに専念したかったから」と回答。次いで多いのは、「子どもが生まれ、仕事と子育ての両立が困難となったから」が18.2%（複数回答）。

② 就労を希望する女性は、約9割が「パート・アルバイト」を希望。また、「自宅から30分以内の職場」を希望。

- ・94.0%が「パート・アルバイト」での就労を希望（複数回答）
- ・希望通勤時間は、「15分以内」が21.3%で、「30分以内」が66.3%

③ 就労を希望する女性の就労にあたって必要な条件は、「子どもの看護・授業参観等の際に休暇を取りやすい職場であること」が1位。

- ・就労を希望する女性の82.3%が就労に必要な条件として、「子どもの看護・授業参観等の際に休暇を取りやすい職場であること」を回答。次いで多いのは、「短時間勤務ができる仕事があること」が76.9%（複数回答）

5 今後の子育て支援策について

夫婦が重要と考える子育て支援策は、「小児医療体制整備など子どもの健康支援」が1位。

- ・「かなり重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高い項目
- 1位 「小児医療体制整備など子どもの健康支援」 89.8%
- 2位 「子育てにかかる経済的支援」 89.6%
- 3位 「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」 88.3%